

1

## 国際フォーラムに参加しました

よしおがゆく!



昨年11月25日~27日の間に国際フォーラム「被災地から考える」が開催されましたので報告します。

### 広野町放射線健康対策委員会による【広野町のくらしと放射線】



広野町で暮らすときに、実際にどれくらい被ばくするのかを報告しました。家まわりの環境や、皆さんに配っている線量計、食品の検査、内部被ばくの検査などの結果から、現在、広野町でくらしでも、健康上問題になるような被ばくをすることはないと考えられます。

### 広野町放射線相談室による【広野町放射線相談室の取り組み】



今年度、新しい取り組みを始めました。広野でとれた野菜の放射線量を測り、一緒に料理して食し、ホールボディカウンタによる内部被ばく検査を行います。行動に伴う生活の場面での被ばく線量がわかる個人線量計を持ってもらい、内部・外部の被ばくの状況をみなさんにご確認いただいています。参加された方々からは「生活の中の放射線について学びを重ね、再確認する事が安心な生活、普通の生活を取り戻すことになる」といった感想をいただいています。

### ふたば未来学園高等学校社会起業部と佐藤勇樹君による研究発表



「広野町の放射線はどこから来てるのか」を確かめるため、私たちはいくつかの仮説を立てて検証しました。高さによる放射線量の違いや雨水の測定などを行った結果、原発から放射性物質が飛んできているわけではなく、地面から放射線が出ているが、国際的な基準よりも大変低いレベルであることがわかりました。これからも、自分たちで考えて調べ、発信していきたいと思います。



学生団体FMふたばプロジェクトを立ち上げました。広野町の畑を借りて野菜を栽培しています。「ファーマーズマーケット」で食を通じて広野に関わる様々な人が交流できることを目的に、農業体験や食のイベントを計画しています。

## パネルディスカッション【原発事故後5年を経た広野町における、情報の受け止め方と発信のあり方について】



登壇して下さった3人の町民の方の感想です。



新妻さん

気楽でこまやかな話し合いのなかで、放射線に対する間違った知識や不安が私なりにゼロではないけれど払拭されました。小さいお子さんを持つお母さんなどは話し合いに参加し、不安や疑問をぶつけてほしいと思います。



遠藤さん

私もまだまだ放射線に関する知識は十分とは言えませんが、国際フォーラムに参加する事で、生活の安心を確認する事につながればと思い参加しました。



阿部さん

正しい知識を持つことで不安をなくし、安心した生活が送れると思います。広野町の未来を担う子ども達にも、ごく自然に放射線の知識が身につくように、これからは教育の分野にも力を入れて頂けたらと考えます。

## 東京大学宇宙線研究所所長梶田隆章教授（ノーベル物理学賞受賞）による【国際フォーラムの発表に対するコメント】

私も大変、勉強になりました。高校生のみなさん、これからもがんばって研究を続けてください。町のみなさんをはじめ、あらゆる機関、団体がより一層の連携を深めることが大切ですね。



今回国際フォーラムの発表から次の事が明らかになりました。

\* 食や水の研修を通じて個別に解説を受ける事で、広野町の食や環境の放射線を具体的に確認することが大切である。

\* 疑問を整理して、自ら考える高校生の取り組みは主体的に放射線の問題を考える点でとても大切である。

\* 放射線の健康不安を抱きやすい若いお母さん達に、積極的に情報を伝えて考えてもらう機会を作る必要がある。

これらを考慮し、新たに帰町される町民、若い世代、子を持つ親にも活動の輪を広げ、きめ細やかな情報提供を行えるよう取り組みたいと思います。

# 食品のモニタリング結果総括表 (平成28年12月実施分)



放射線相談室だより24号でお知らせ致しました「野菜等出荷物の放射線モニタリング検査(直売所出荷専用)」の申込日について誤りがありましたので下記の通り訂正いたします。誠に申し訳ありませんでした。

誤: 申込日 火・水・土曜日 → 正: 申込日 火・木・土曜日

【基準値】: 一般食品 100Bq/kg 牛乳・乳幼児製品 50Bq/kg 飲料水 10Bq/kg

規制のないの食品	検査数			備考 (基準値以上の品目)	
	合計	基準値未満	基準値以上		
野菜	13	13	0		
根菜・芋類	13	13	0		
山菜・きのこ	0	0	0		
果物	40	40	0		
穀類	0	0	0		
種実類	0	0	0		
魚介類	0	0	0		
加工食品	1	1	0		
飲料水	0	0	0		
その他(肉類など)	4	4	0		
出荷などを差し控えるよう要請している広野産の食品 (平成28年度: 福島県公表)	検査数			備考	
	合計	基準値未満	基準値以上		
出荷制限	くさそてつ(こごみ)	0	0	0	
	たけのこ	0	0	0	
	ふきのとう(野生のもの)	0	0	0	
	ぜんまい(野生のもの)	0	0	0	
	たらめ(野生のもの)	0	0	0	
	わらび(野生のもの)	0	0	0	
	こしあぶら	0	0	0	
	うど(野生のもの)	0	0	0	
	原木しいたけ(露地)	0	0	0	
	野生きのこ(菌根菌類、腐生菌類)	1	1	0	
	キジ、ヤマドリ、カルガモ	1	1	0	
摂取制限	イノシン	5	3	2	
総検査数		78	76	2	

食品モニタリング結果の詳細については、食品分析検査センター(公民館内)と放射線相談室に置くほか、広野町ホームページに掲載しますのでご利用下さい。

右のQRコードを読み取ったあと、東日本大震災→放射線量・除染関連→放射線量情報の項目の中の「食品モニタリング」をクリックしていただくと見ることができます。



# 広野町の各地区の放射線量



広野町の地区別の放射線量をお知らせします。

1月23日8時10分現在（天候：晴れ）の町内50カ所のモニタリングポストの数値をまとめたものです。

地区	測定箇所	放射線量率( $\mu$ Sv/h)		地区	測定箇所	放射線量率( $\mu$ Sv/h)	
		平成28年 1月14日	今回			平成28年 1月14日	今回
中央台地区	広野小・中学校	0.10	0.09	下北迫地区	町道築地～新町沿(西町)	0.16	0.14
	広野町保育所	0.10	0.10		高野病院	0.10	0.10
	広野町児童館	0.10	0.10		広野町役場	0.14	0.12
	広野町老人福祉センター	0.08	0.07		浜田地区集会所	0.07	0.07
	広野町公民館	0.08	0.07		下北迫地区集会所	0.08	0.07
広洋台地区	広洋台地区集会所	0.12	0.12		苗代替地区集会所	0.09	0.08
	Jヴィレッジスタジアム入口	0.13	0.11		のびっこらんど広野	0.11	0.11
	Jヴィレッジ東側	注 <sup>1</sup> 0.22	0.18	広野工業団地入口	0.16	0.15	
	ニッ沼公園	注 <sup>2</sup> 0.12	0.10	高速バス利用者駐車場	0.19	0.17	
	ニッ沼公園直売所	0.11	0.10	町道北迫線(北の内前)	0.16	0.14	
上浅見川地区	長畑地区集会所	0.14	0.14	上北迫地区	土ヶ目木農集排施設	0.16	0.14
	大谷内消防屯所	0.13	0.11		二本櫛集会所	0.11	0.09
	旧家畜牛削蹄場跡(南山)	0.19	0.17		上北迫地区集会所	0.10	0.09
	小滝平浄水場	0.11	0.09		田の神地区集会所	0.09	0.08
	浅見生活改善センター	0.08	0.07		亀ヶ崎地区集会所	0.12	0.11
	小松地区集会所	0.07	0.06		折木地区集会所	0.11	0.11
	箒平地区集会所	0.09	0.07		北沢複合交差点	0.18	0.16
下浅見川地区	広野幼稚園	0.10	0.08	折木地区上	東下地区集会所	0.09	0.08
	ふたば未来学園高等学校	0.08	0.06		南沢地区集会所	0.09	0.08
	山忠設備工業南側公園	0.13	0.13		西の沢 ため池駐車場	0.10	0.09
	広野駅前広場	0.16	0.12		国道大平交差点	0.13	0.12
	桜田地区集会所	0.11	0.10		県道広野～小高線沿	0.19	0.17
	広桜荘	0.13	0.11		正木内地区集会所	0.09	0.08
	下浅見川地区集会所	0.07	0.06		折木館地内	0.11	0.09
	築地地区集会所	0.08	0.08		仮置場	0.13	0.13

注1 平成27年4月21日より設置。

注2 ニッ沼公園のモニタリングポストは現地ではnGy/h（ナノグレイ毎時）で表示されていますが、 $\mu$  Sv/hに換算して掲載しています。

# 町民の皆さんからの質問と 専門家からの回答



松や杉の葉が震災前と比べて色が濃くなったように感じます。セシウムの影響ではありませんか？

現在までの知見では、そのような報告はなく、何とも言えません。ただし、葉に含まれるセシウムの量については、次のような知見が得られています。

マツ根系からのセシウム吸収量は少なく、また、事故時の着葉はすべて落ちていたため、葉のセシウム濃度は低い状態にあります。スギの根系からのセシウム吸収は多くなく、事故後の着葉もわずかしか残っていないため、葉のセシウム濃度は事故後に比べると低くなっているようです。

周辺の樹木の葉が濃くなったとのことですが、ご自宅はじめ周辺樹木の伐採等によって光環境が改善され、葉の更新が促進されたことも考えられます。



小林達明教授  
千葉大学大学院園芸学研究科



## 最近の出来事



国際フォーラムでも発表してくれたふたば未来学園高等学校の佐藤勇樹君が、内閣府の「地方創生☆政策アイデアコンテスト」で「チームラボ賞」に選ばれました。佐藤君は広野町の現状を紹介し消費者に野菜や加工品を販売するファーマーズマーケットの開催を提案し、対面販売による食の不安の払拭や町民と復興関連従事者との交流について発表しました。佐藤君は町内に借りた畑で作った野菜を販売し、食で人のつながりをつくりたいと計画しています。

ファーマーズマーケットの実現を応援したいと思います。

## 放射線相談会のご案内



今後の相談会の予定は下記のとおりです。窓口でもご相談を受け付けています！

開催日	会場	時間	開催日	会場	時間
2月7日 (火)	高久・鹿島第4 仮設集会所	午後2時～3時	2月16日 (木)	常磐迎第2仮設 集会所	午後2時～3時
2月8日 (水)	あじさい会 苗代替集会所	午前10時30分 ～11時30分	2月20日 (月)	四倉鬼越仮設 集会所	午後2時～3時
2月10日 (金)	はまぎく会 下浅見川集会所	午前10時 ～11時		工業団地仮設 談話室	午後3時15分 ～4時15分
2月13日 (月)	つつみ会 亀ヶ崎集会所	午前10時 ～11時	2月21日 (火)	長畑会 長畑地区集会所	午前10時 ～11時
2月14日 (火)	じゃがいも会 舘地区集会所	午前10時 ～11時		小松会 小松地区集会所	午後1時30分 ～2時30分
2月15日 (水)	つくし会 広洋台集会所	午前10時30分 ～午後1時			



発行者 広野町放射線相談室 080-9252-4773  
 広野町放射線対策課 0240-27-4162